



平成25年10月11日

各 位

会 社 名 Oak キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役会長兼CEO 竹井 博康
(コード番号3113 東証第二部)
問合せ先 取締役管理本部長兼経理財務部長
秋田 勉
(TEL. 03-5412-7700)

株式会社アクロディアに対する投資実行のお知らせ

当社はこのたび、株式会社アクロディア（東証マザーズ 3823、以下「アクロディア」）のM&A資金の調達を目的とした総額6億円のエクイティファイナンスの引受けを決定いたしましたので、その概要に関し下記の通りお知らせいたします。

記

1. アクロディアの次期成長期待へ投資

本日、当社が「K Lab 株式会社（東証一部3656）の事業の一部譲受に関するお知らせ」において公表しております事業買収は、スマートフォン向けコンテンツビジネスを積極的に展開していく成長戦略の一つであり、同社の強みであるソフトウェア開発力とマーケティング力を活かし、成長するスマートフォン・ソーシャル関連市場にて事業拡大と収益力向上を図っていく足掛かりであります。

当社は、同社の事業拡大と企業価値向上に向けた成長支援として、同社による事業買収資金の調達を引受けるものであります。また、当社が持つネットワークやノウハウを最大限活かし、様々な支援を通じ同社の更なる成長の後押しをおこなってまいります。

アクロディアは、携帯電話向けミドルウェアの開発事業から、新しい成長分野であるスマートフォン関連市場向けのサービスプラットフォームを提供する事業に転換を進めてまいりました。同社では、成長分野であるスマートフォン関連サービスに経営資源を集中させ、各事業基盤の強化と早期成長を推進しております。

具体的には、今後益々の成長が期待されるソーシャル関連市場において、新たにゲーム・アプリなどのコンテンツサービスや、通信キャリアやコンテンツプロバイダーを主要顧客としたスマートフォン向けの各種サービスプラットフォームなどを展開しております。その一つとして平成23年12月からサービスを開始しておりますJFA（公益財団法人 日本サッカー協会）オフィシャルライセンスソーシャルゲーム「サッカー日本代表2014ヒーローズ」は定期的に登録者数を伸ばし、売上に貢献しております。

2. アクロディアへの投資総額6億円の内訳

転換社債型新株予約権付社債の引受け：4億円

新株予約権の引受け：2億円（権利行使による払込み予定総額）

合 計：6億円

3. アクロディアの概要（平成24年8月31日現在）

- (1) 商 号：株式会社アクロディア（東証マザーズ 3823）
- (2) 代 表 者：代表取締役社長 堤 純也
- (3) 所 在 地：東京都渋谷区東二丁目16番10号
- (4) 設 立：平成16年（2004年）7月
- (5) 事 業 内 容：ソリューション事業、EC事業
- (6) 決 算 期：8月
- (7) 従 業 員 数：167名（連結）
- (8) 資 本 金：26億35百万円（平成25年5月31日現在）
- (9) 発行済株式総数：118,800株（平成25年9月30日現在）

- (10) 株主構成：GMOインターネット 18.53%、堤 純也 8.67%、エヌ・ティ・ティ・ドコモ 6.14%
 KDDI、バンダイナムコホールディングス、他（平成25年8月31日現在）
- (11) URL：http://www.acrodea.co.jp/

4. 今後の予定

払込期日：平成25年10月28日

5. 当社の投資方針と実績

O a k キャピタルは国内外の企業向けに資金調達及び事業成長への支援を実施してまいりました。投資セクターは上場株投資、事業プロジェクト投資、IPO投資、M&A投資、ブランド投資で構成されており、実績を積み重ねてまいりました。本年度は活発な株式市場の動きを捉え、成長支援投資（エクイティファイナンスの引受け）を拡大する方針で取り組んでおります。

・O a k キャピタルグロースファンド150億円の運用開始

O a k キャピタルは英国の投資会社と共同で、日本の上場企業を対象とする総額150億円の投資ファンドを開始いたしました。

・平成25年度の投資対象分野：

スマートフォンコンテンツ、インターネット関連、情報通信、メディカル、不動産、ロボット

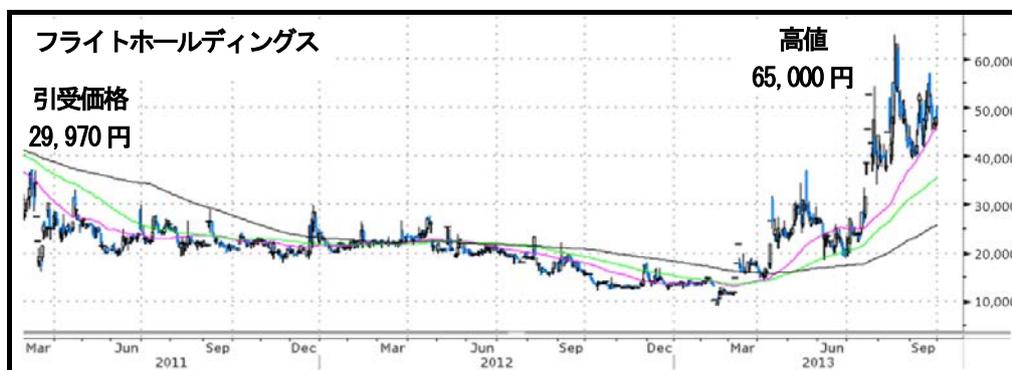
・主な投資実績

- ・上場株投資：セーラー万年筆（東証二部 7992）、フライトホールディングス（東証マザーズ 3753）
 ソフトフロント（J2321）、K L a b（東証一部 3656）
- ・事業プロジェクト投資：デジタルポスト、軽井沢エフエム放送
- ・ブランド投資：クリストフルジャパン（フランス製銀食器の世界的ブランド）、
 山田平安堂（宮内庁御用達の漆器の名門）

・投資事例

■第三者割当増資引受による再生支援投資

フライトホールディングス（東マ 3753）	引受価格 29,970円	高値 65,000円
-----------------------	-----------------	---------------



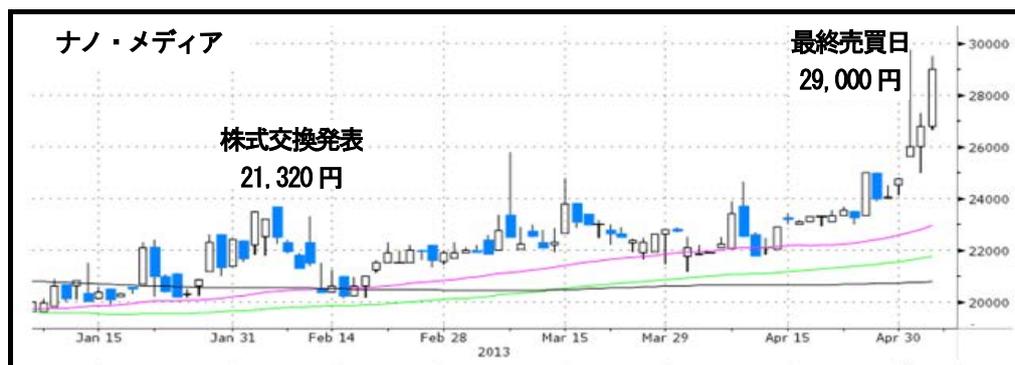
- 再生支援投資：6.5億円（1株/29,970円）のファイナンスを引受
- 新規事業の立ち上げを支援、成長戦略を後押しする
- 平成25年本格的に軌道に乗り、業績は黒字化を達成
- 株価は引受価格の29,970円から65,000円まで上昇
- 本年度、投資資金の回収および大幅なキャピタルゲインを得る

フライトホールディングス社は、当社からの資金を活用しスマートフォンを使ったクレジットカード決済端末の開発を推進、平成24年からホテル等への導入が始まり、平成25年に大型案件を受注。売上高19～20億円、営業利益1.15～1.65億円（平成26年3月期の業績予想）までV字回復を果たしました。

※平成25年10月1日付で持株会社体制へ移行し、株式会社フライトホールディングスに商号変更。

■株式交換による事業再生投資

ナノ・メディア (東マ 3783)	ナノ株価 21,320円 → 29,000円
-------------------	---------------------------



- 企業買収：株式交換の投資手法により100%子会社化（時価総額：13.5億円〔PBR：0.5倍〕、純資産：24億円）、事業再生に着手する
- 配当金21.7億円を受領、投資資金16.7億円を回収する
- 一定のリストラチャリングを完了する
- ナノ・メディアの役職員によるMBOで再成長を加速

ナノ・メディアを100%子会社し、事業の精査を進め、不採算部門を整理。役職員によるMBOを実施し、新体制下で再成長へのスタートを切りました。

■新規事業の創出と資金支援による事業プロジェクト投資

デジタルポスト：次世代の郵便事業としてスマートフォンやPCから郵便が発送できるハイブリッド郵便事業への投資

軽井沢エフエム放送：情報産業事業としてコミュニティFM放送およびインターネット放送を展開する、避暑地「軽井沢」のFM放送会社への投資

Digital POST

<代表者>

取締役会長 宇田 好文(元NTTドコモ代表取締役副社長)
代表取締役社長 磯村 康典

<資本金>

資本金等 133,500千円

<出資企業>

Oakキャピタル株式会社	33.71%
株式会社ソフトフロント	26.22%
株式会社フライシステムコンサルティング	14.98%
東京リスマチック株式会社	14.98%
株式会社日立システムズ	10.11%

<協力企業>

日本郵便株式会社(郵便ネットワーク)
富士フイルム株式会社(写真補正技術)
三菱UFJニコス株式会社(クレジットカード決済)



軽井沢FMラジオ放送局

<代表者>

取締役会長 佐藤泰春(元万平ホテルオーナー)
取締役 竹井博康
取締役 赤坂茂好(西武プリンスホテル専務)
取締役 佐藤雅義(前軽井沢町長)

<資本金>

資本金等 132,000千円

<出資企業>

主要株主
Oakキャピタル株式会社(保有81.0%)
株式会社森トラスト・ホールディングス
信濃毎日新聞株式会社
信越放送株式会社(SBC)
株式会社長野放送(NBS)
株式会社八十二銀行
株式会社プリンスホテル

本件に関する問合せ先
Oakキャピタル株式会社
事業戦略室 小玉誠一
03-5412-7700

以上